

令和元年度 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク講演会

《 参加首長等による発言・まとめ 》



■村上市副市長 忠 聡

皆さんこんにちは。村上市の忠と申します。石川先生、糸川支社長、大変貴重なご講演ありがとうございました。ターゲット、どういう方々をお招きしたいのか、するのかというところがやはりみそなんではないかと思えます。

その点でいいますと私ども村上市は海岸線、50キロありますけれども、その中には北前船が寄港した箇所がいくつかございます。港の方ですと1級河川荒川の河口に塩谷という集落がございますけれども、この集落は今でも町並みを形成して、その中に醸造所、あるいは職人さんが今なお生活をしていると、そのような町並みの町歩きを一部の方々が地域興しの一つとして取り組んでいると、そんなこともございます。今月の10月13日にはお隣の胎内市と一緒に、そんな取組をするというようなことが企画をされております。それから港の市街地の中には春、おひな様をそれぞれの町屋の建物の中に展示をして、それをご覧いただくと、そんなイベントを1ヶ月間に渡って行われております。秋は秋で屏風祭りというのが9月の15日から10月の16日まで、これも1ヶ月間のイベントがございますが、これは京都から上方の文化が北前船を通じてもたらされたものということで、これも私どもにとっては大きな財産になっております。そういうものを先程申し上げたようなターゲット、どういう方々に宣伝したらいいのか、そして外国の方々を含めてそれをしっかりとご覧いただけるような、そんな準備を我々はこれから出来るところからするというのが、まずは第一歩なんだろうと受け止めました。ご講演を活かしながらこれからも

活動を続けてまいりたいと思います。今後ともご指導の程、よろしくお願いいたします。
ありがとうございました。